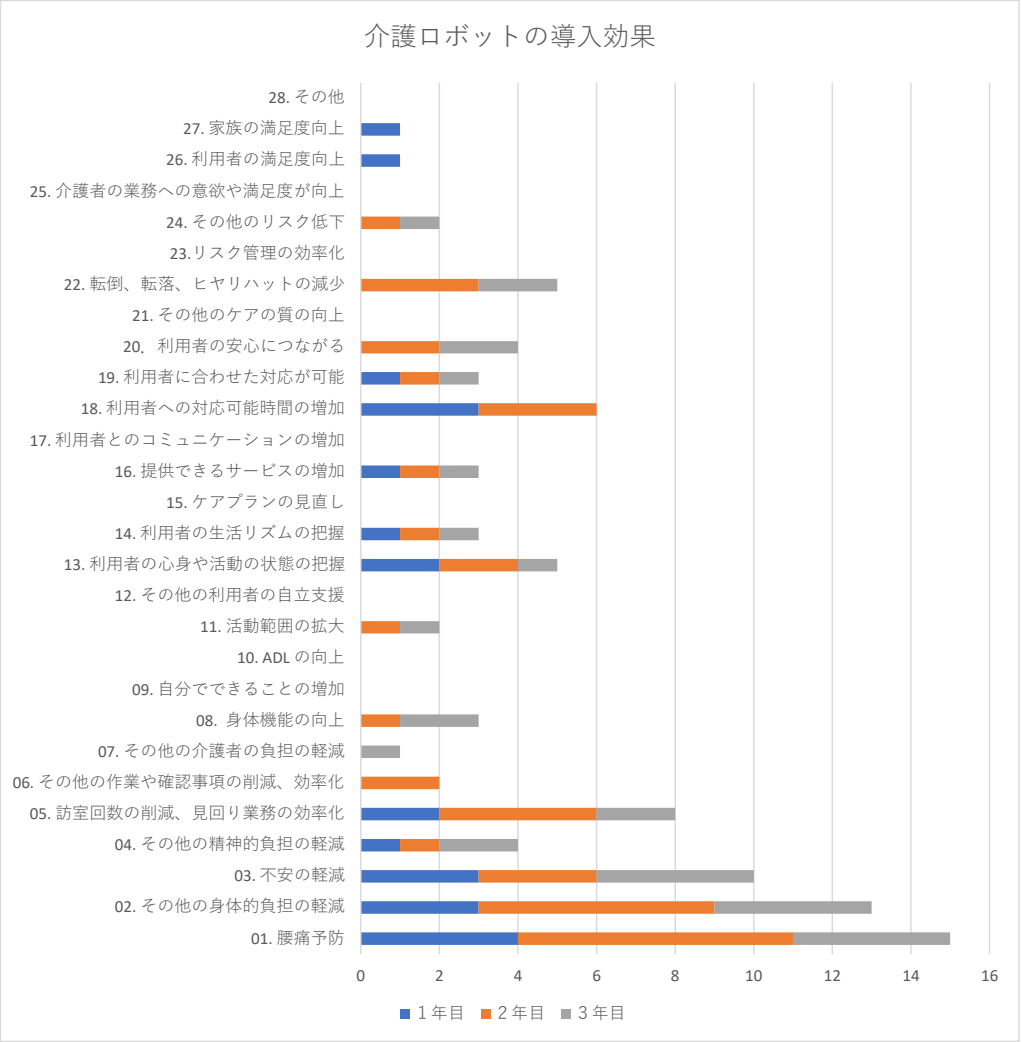
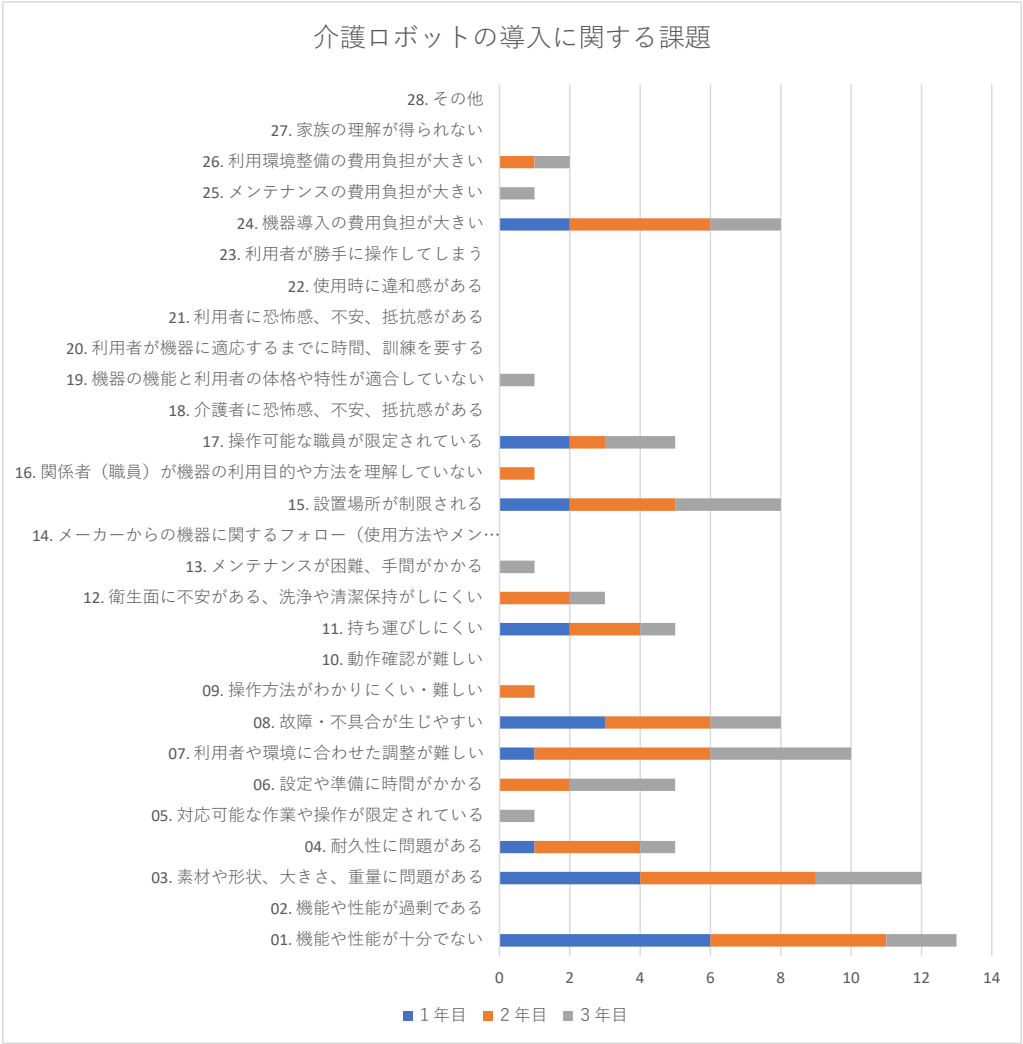


令和2年度介護ロボット使用状況報告結果



区分	1年目	2年目	3年目
01. 腰痛予防	4	7	4
02. その他の身体的負担の軽減	3	6	4
03. 不安の軽減	3	3	4
04. その他の精神的負担の軽減	1	1	2
05. 訪室回数の削減、見回り業務の効率化	2	4	2
06. その他の作業や確認事項の削減、効率化	0	2	0
07. その他の介護者の負担の軽減	0	0	1
08. 身体機能の向上	0	1	2
09. 自分でできることの増加	0	0	0
10. ADL の向上	0	0	0
11. 活動範囲の拡大	0	1	1
12. その他の利用者の自立支援	0	0	0
13. 利用者の心身や活動の状態の把握	2	2	1
14. 利用者の生活リズムの把握	1	1	1
15. ケアプランの見直し	0	0	0
16. 提供できるサービスの増加	1	1	1
17. 利用者とのコミュニケーションの増加	0	0	0
18. 利用者への対応可能時間の増加	3	3	0
19. 利用者に合わせた対応が可能	1	1	1
20. 利用者の安心につながる	0	2	2
21. その他のケアの質の向上	0	0	0
22. 転倒、転落、ヒヤリハットの減少	0	3	2
23. リスク管理の効率化	0	0	0
24. その他のリスク低下	0	1	1
25. 介護者の業務への意欲や満足度が向上	0	0	0
26. 利用者の満足度向上	1	0	0
27. 家族の満足度向上	1	0	0
28. その他	0	0	0
合計	23	39	29

令和2年度介護ロボット使用状況報告結果



区分	1年目	2年目	3年目
01. 機能や性能が十分でない	6	5	2
02. 機能や性能が過剰である	0	0	0
03. 素材や形状、大きさ、重量に問題がある	4	5	3
04. 耐久性に問題がある	1	3	1
05. 対応可能な作業や操作が限定されている	0	0	1
06. 設定や準備に時間がかかる	0	2	3
07. 利用者や環境に合わせた調整が難しい	1	5	4
08. 故障・不具合が生じやすい	3	3	2
09. 操作方法がわかりにくい・難しい	0	1	0
10. 動作確認が難しい	0	0	0
11. 持ち運びしにくい	2	2	1
12. 衛生面に不安がある、洗浄や清潔保持がしにくい	0	2	1
13. メンテナンスが困難、手間がかかる	0	0	1
14. メーカーからの機器に関するフォロー（使用方法やメン...	0	0	0
15. 設置場所が制限される	2	3	3
16. 関係者（職員）が機器の利用目的や方法を理解して	0	1	0
17. 操作可能な職員が限定されている	2	1	2
18. 介護者に恐怖感、不安、抵抗感がある	0	0	0
19. 機器の機能と利用者の体格や特性が適合していない	0	0	1
20. 利用者が機器に適應するまでに時間、訓練を要する	0	0	0
21. 利用者に恐怖感、不安、抵抗感がある	0	0	0
22. 使用時に違和感がある	0	0	0
23. 利用者が勝手に操作してしまう	0	0	0
24. 機器導入の費用負担が大きい	2	4	2
25. メンテナンスの費用負担が大きい	0	0	1
26. 利用環境整備の費用負担が大きい	0	1	1
27. 家族の理解が得られない	0	0	0
28. その他	0	0	0
合計	23	38	29